

メイプル通信 Maple NEWSLETTER

福岡カナダ協会広報誌

Fukuoka
Canada
Society

Vol.11



ごあいさつ

会員の皆さま、あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご健勝にて新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

1998年秋に発足しました福岡カナダ協会も早いもので4度目の新年を迎えることができ、活動内容も充実してまいりました。

さて、昨年を振り返りますと、1月のシモン領事ご結婚お祝いの会、ロバート・ライト大使の来福、8月の2回目となりますカナダ表敬訪問、10月の協会設立3周年記念パーティー、12月のクリスマス・パーティーなどにより、福岡とカナダそして会員相互の交流を一層図ることができた一年でした。

特に今回で2回目となりましたカナダ表敬訪問では、会員の方々が親睦を深めながら、カナダの人々と出会い、自然、文化などに触れ、カナダと福岡との友好親善を促進していく上での大きな財産になったのではないかと思います。

このように充実した活動ができましたのも、皆さまのご支援とシモン領事の熱心なご活動があつてこそと、心から感謝いたしております。

当協会では、今後も福岡とカナダとの交流を深め、両国の友好親善に寄与するための活動を積極的に展開してまいりますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年一年が会員の皆さまにとりまして、そして福岡とカナダにとりまして、すばらしい一年となりますよう心からお祈りいたします。



福岡カナダ協会 会長 鎌田迪貞

Dear Friends from the Fukuoka-Canada Society

Bonne Annee! First, I would like to wish a happy 2003 to all Fukuoka-Canada Society members and their families. May it bring to you health, peace, love, and success in your projects. I would also like to thank you for your friendship and support of Canadian interests in 2002, and say "yoroshiku onegai shimasu" for 2003.

I just returned from two weeks in Canada, where I celebrated Christmas and the New Year. There was not as much snow as usual in my hometown, but it was still a white Christmas, and I was able to skate on the small pond across from my parents' house. I spent these two weeks getting together with family, relatives and friends, and eating lots of home-made goodies. Turkey, pig's feet stew and meat pie are traditional Christmas dishes, and are eaten with potatoes and a variety of salads and vegetables. For dessert, "Noel"-type rolled cakes, maple and other pies, cakes and mousses of all kinds. I feel like I visited and ate non-stop from December 24 to January 2!

2003 promises to be another good year for Canada in Kyushu. The Consulate is planning food promotions at a number of local hotels and stores, as well as a cooking class using Canadian ingredients. There will also be a number of Canada Fairs where you can stock up on Canadian goodies. We will also continue to promote advanced housing systems and building products, as well as environmental technologies. We are always interested in meeting with new companies and introducing new Canadian products and technologies to Kyushu, so if you or people you know are interested in specific areas, please contact us, and we can sit down and discuss, and see how we can assist. This year, we will also work with our colleagues from the Embassy in Tokyo to prepare events to celebrate the 75th Anniversary of Canada-Japan Diplomatic Relations in 2004. If you have project ideas or would like to help, we would be delighted to hear from you.

Finally, the Cirque du Soleil will be back in Fukuoka from October 22 to December 7, this time with Quidam (<http://www.quidam.jp>), which is sure to delight its audience. I hope that many of you will get to see it.

Most of you will already have received a notice about the Canadian movie and dinner on February 1. I have seen the movie, 2 Secondes, and tasted the meal, which was the winning menu at the Canadian Culinary 2002 (a cooking contest using Canadian ingredients, which is organized every year by the All-Japan Chefs Association and the Canadian Embassy), and am sure you will enjoy both! It is the first time that a Kyushu Chef wins the Canadian Culinary Cup, and I am pleased that Chef Ozawa agreed to prepare his winning menu again, specially for Society members. I look forward to seeing many of you at the movie and the dinner, and throughout the year.

◀ Josiane Simon



福岡カナダ協会の皆さまへ

新年明けましておめでとうございます! まず、福岡カナダ協会の皆様と御家族の方々にとって、幸せな2003年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。皆様に、健康・平和・愛・成功が訪れますように! それから、2002年もカナダに対し、温かい友情とご支援を頂きまして、誠にありがとうございました。今年もどうぞ「よろしくおねがいします」と申し上げたいと存じます。

さて、私は、クリスマスと新年を祝った2週間のカナダの休暇から戻ったばかりです。私の故郷ではいつもよりは雪は少なかったものの、やはり「ホワイトクリスマス」でしたし、両親の家の向かいの小さな池でスケートをすることもできました。この2週間、家族・親戚・友人達と集まっては、ホームメイドの美味しいものばかり食べて過ごしました。ターキー、豚足のシチュー、ミートパイはクリスマスの定番料理ですが、付け合わせのポテトや野菜、色々な種類のサラダと一緒に頂きます。デザートは、ロールケーキタイプの「ノエル」からメイプルと様々なパイ、色々な種類のケーキやムースです。12月24日から1月2日まで、まさにノンストップで誰かを訪れ、食べ続ける毎日だったように感じます!

2003年は九州におけるカナダにとって、また素晴らしい年となりそうです。当領事館では、カナダ食品プロモーションのイベントをいくつか企画しており、地元のホテルやお店では、カナダ食材を使用したカナダフェアや料理教室等も開催されますし、カナダグッズを買える物販フェアも実施予定です。勿論、環境テクノロジーや優れた住宅システム・建材等も続けて促進してまいります。私たちは常に、九州の企業の皆様にカナダの新しい製品やテクノロジーをご紹介したいと考えており、皆様や或いはお知り合いの方で、これらの分野にご興味をお持ちの方がおられましたら、どうぞいつでもご連絡を頂きたいと思えます。お会いして、私たちがどのようにサポートできるか等、お話をさせて頂きたいと存じます。また来年は日加外交75周年記念の年にあたり、今年から東京の大使館とも協力しながら、祝賀イベントの開催準備をする予定です。もし、この祝賀の趣旨に御賛同くださり、プロジェクト企画をお持ちの方がおられましたら、ご連絡を下さい。お待ち申し上げております。

最後に、あの「シルク・ドゥ・ソレイユ」が今度は「キダム」というタイトル「Quidam (<http://www.quidam.jp>)」を掲げて、10月22日から12月7日まで福岡へ帰ってきます。またも観客を魅了して止まないことでしょう。たくさんの方々楽しんで頂きたいと思えます。

さてもう皆様には既に2月1日に行われる、カナダ映画+ディナーのお知らせが届いているかと存じます。私はこの「2秒」という映画も観ましたし、カナダ食材を使用した料理コンテスト2002(毎年全日本司厨士協会とカナダ大使館の共催で行われるイベント)で優勝した尾沢シェフのディナーメニューも頂いたことがあります。どちらも気に入って頂けると思えますよ!九州のシェフがこのクリナリーカップで優勝したのは初めてです。尾沢シェフがこのイベントのために特別にそのメニューをもう一度再現してくださるというので、とても嬉しく思っています。この映画鑑賞で、ディナーで、また一年を通じて色々なイベントで皆様にお会いできることを楽しみにしています!

ジョシアン・シモン

Christmas Party

福岡カナダ協会
クリスマスパーティー

2002年12月10日(火)



●鎌田迪貞会長、開会のご挨拶

2002年最後を締めくくるイベントとして、毎年恒例となりましたクリスマスパーティーを12月10日(火)に博多埠頭ベイサイドプレイスで開催しました。

カナダスタイルの楽しいクリスマスの雰囲気の中で会員相互の懇親を深めていただこうと、今年で4回目の開催となりました。当協会の一年を締めくくる恒例行事として、今回も会員をはじめ、そのご家族、ご友人の方々、そして福岡在住のカナダ人の方々総勢200名が集い、ひと足早いクリスマスの夜を楽しみました。

鎌田迪貞会長のごあいさつに続き、在福岡カナダ領事館のジョシアン・シモン領事の乾杯で幕を開けたパーティーは、今回もマリリンバの澄み切った音色でクリスマスムードに染まりました。

そして、恒例となりましたシモン領事によるカナダクイズ。大勢の参加者がカナダに関する〇×クイズに一喜一憂し、会場は大いに盛り上がりました。豪華な賞品を勝ち取られた参加者の皆さま、おめでとうございます!

その後、サンタクロースが登場し、子供たちへプレゼント。中には泣き出した子もいましたが、カナダ人のサンタさんは子供たちに大人気でした。

盛会のうちに加藤笠子副会長のごあいさつで幕を閉じ、参加者の皆さまはプレゼントを片手に会場を後にされました。

最後になりましたが、当日、MCを担当してくださいましたカナダ人会員のウェイン・マックスナーさん、カナダ領事館の原典子さん、サンタクロースに扮していただいたスコット・ジャーダンさん、そして、景品をご協賛くださいました会員の皆さま、また、差し入れをしてくださりました皆さまにこの紙面をお借りしまして厚く御礼申し上げます。



●カナダクイズの出題



●マリリンバ演奏の風景



●クイズ優勝者への賞品贈呈



●盛り上がる会場内



●盛り上がる会場内

「もっとカナダを知ろう!」コーナー

カナダ最大の都市「トロント」をご紹介します

五大湖のひとつオンタリオ湖の北岸に位置しているトロントは、先住民であるヒューロン・カナディアン言葉で「人の集う場所」に由来しています。この都市の人口は約400万人。オンタリオ州の州都であると同時にカナダ最大の国際都市です。



その昔、毛皮貿易の主要拠点として賑わい発展してきましたが、現在では世界中の様々な人種が集まって活気溢れる社会を築き上げており、「ピープル・シティ」とも呼ばれています。

トロントの歴史は、1615年にフランス人探検家のシャンプランが、訪れたことから始まります。その後まもなくヨーロッパからの入植が始まり、フランス領として発展を始めたが、1759年、英仏戦争の結果、トロントはフランスから英国の手に移り、それと同時に、時の英国王ジョージ三世の第二子、フレデリック・ヨーク公の名にちなんで、地名はヨーク・ビルと改名。その後、1812年の英米戦争では一面焼け野原と化したのが、英国から移民たちにより再興され、そして1830年代には、その名をトロントに戻している。このように歴史的に紆余曲折を経してきました。

そして、五大湖によってアメリカのバッファロー、クリーブランド、デトロイト、シカゴといった大都市と結ばれ、東部カナダの町とはセント・ローレンス川でつながれたトロントの水路の立地条件は、この街をカナダにおける経済、金融の中心地まで押し上げました。現在では超近代的なビルが立ち並ぶ、エネルギーな大都市となっています。

その一方で、歴史的な建物もあり、これら新旧入り混じった建築物の間には、広大な緑地帯が点在しています。

新しいビル、古い建物、そして世界各国からの移民の人々の住む町。トロントは、あらゆる意味において異質な文化がひとつの国の中に共存しながら発展を遂げてきた、数少ないコスモポリタンシティとして今後も発展してゆくものと思われます。



●ハーバーフロントの夕景



●トロントの街並み



●事務局から●

年会費納入のお願い

先般、平成14年度会費納入のお願いを送付させていただきました。まだご納入されておられない方は、お早めにお振り込みいただきますようお願いいたします。

会員募集

福岡カナダ協会では会員を募集しています。お知り合いのカナダにご興味のある方、カナダへの留学・滞在経験者の方、福岡在住のカナダ人の方をご紹介します。